

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

練馬区の特徴

- ・周辺区市との比較から見える練馬区の特徴は、豊富なみどりを始めとする良好な生活環境の中、おもに戸建て住宅が広がる「住宅都市」に集約される。
- ・都心部への鉄道ネットワークもある程度充実し交通利便性が高い一方で、比較的地価が安価なため居住環境を優先する人々に選ばれる区と言える。

<データ比較のまとめ>

人口関係

- ・総人口は約72万人（23区中2位）
- ・人口密度は約15,000人/km²（23区中14位）
- ・年少人口割合は約12%（23区中4位）
- ・生産年齢人口割合は約66%
- ・高齢人口割合は約22%
- ・外国人比率は1.73%（23区中21位）
- ・昼間人口比率は約82%（23区中23位）
 - 22位：江戸川区 約84%
 - 20位：杉並区 約87%
 - 17位：板橋区 約92%
- ・転入・転出口の差は約2,000人の転入超過
- ・2015年における人口推計と実績値の比率は約97%（23区中22位）

（平成27年国勢調査より）

住宅

- ・戸建住宅割合は約28%（23区中2位）
 - 三鷹市、府中市、立川市と同程度
- ・持ち家割合は約40%（23区中6位）

（平成25年住宅・土地統計調査結果より）

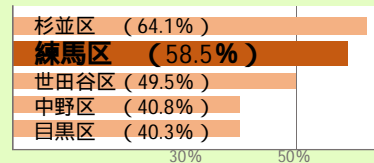
農業耕地面積・農業就業人口

- ・耕地面積は約160ha（23区中1位）
 - 2位：世田谷区 約98ha
- ・農業就業人口は630人
 - （23区中1位、東京都で3位）
 - 1位：八王子市 693人

（平成27年農林業センサスより）

用途地域

- ・第一種低層住居専用地域の割合は約58.5%（23区中2位）



- ・商業地域の割合は約1.92%（23区中21位）

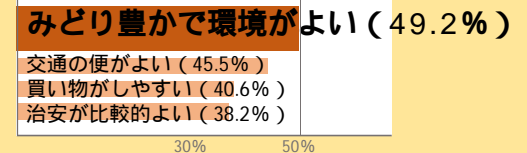
武蔵野市（約5.34%）、立川市（約5.27%）、多摩市（3.23%）よりも低い

（平成25年都市計画年報より）

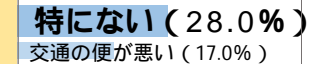
<練馬区全般のイメージ>

区民の意識

<住みやすいと感じるところ>



<住みにくいとと感じるところ>



（平成28年区民意識意向調査より）

一般的な練馬区のイメージ

～各種民間調査等によるまちのイメージ～

- ・利便性、実感としての住みやすさ、リーズナブル感等が評価されている

→いわゆる「住みたい街」などの、知名度の高い駅が並ぶようなランキングではなく、「住んでみて良かった街」や「穴場だと思ふ街」といったようなテーマで好意的な評価を受けている。

（参考）

犯罪発生率

犯罪発生率は
約0.74件/100人あたり
（23区中22位）

（平成28年警視庁HPより）

平均寿命

男性は80.3歳（23区中6位）
女性は86.7歳（23区中5位）

（平成22年市区町村別生命表より）

平均地価（住宅地）

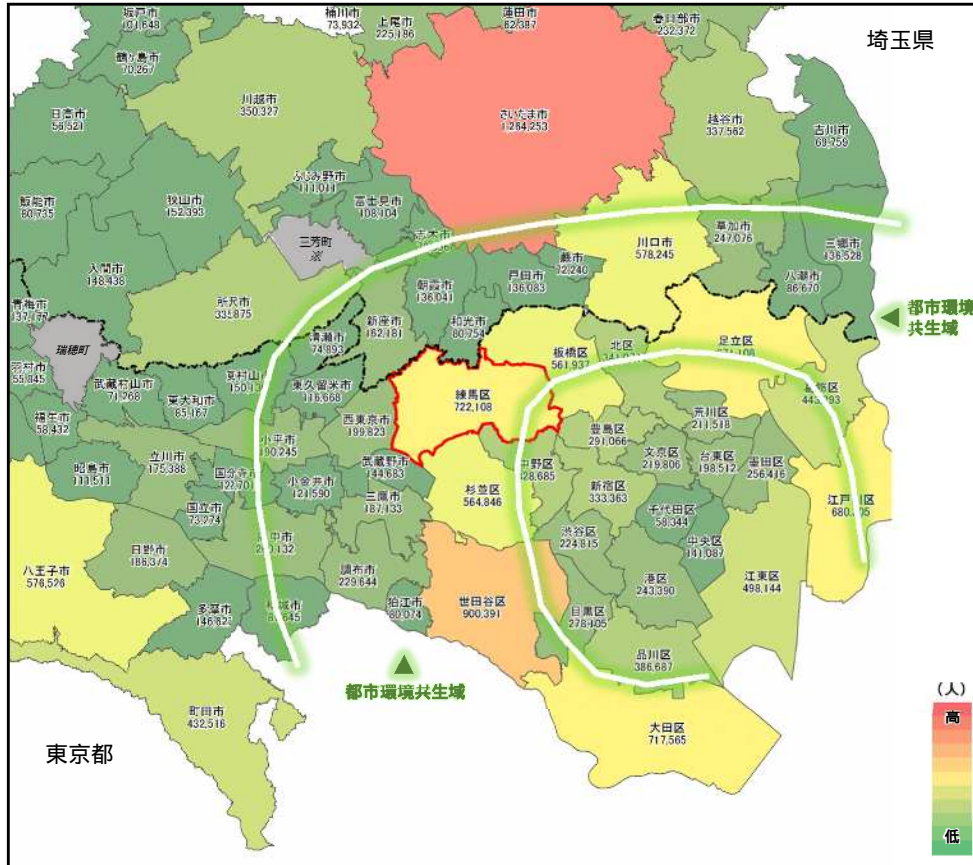
武蔵野市 45.1万円/m²
三鷹市 36.3万円/m²
練馬区 34.4万円/m²（23区中20位）

（平成28年東京基準地価より）

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

1) 総人口

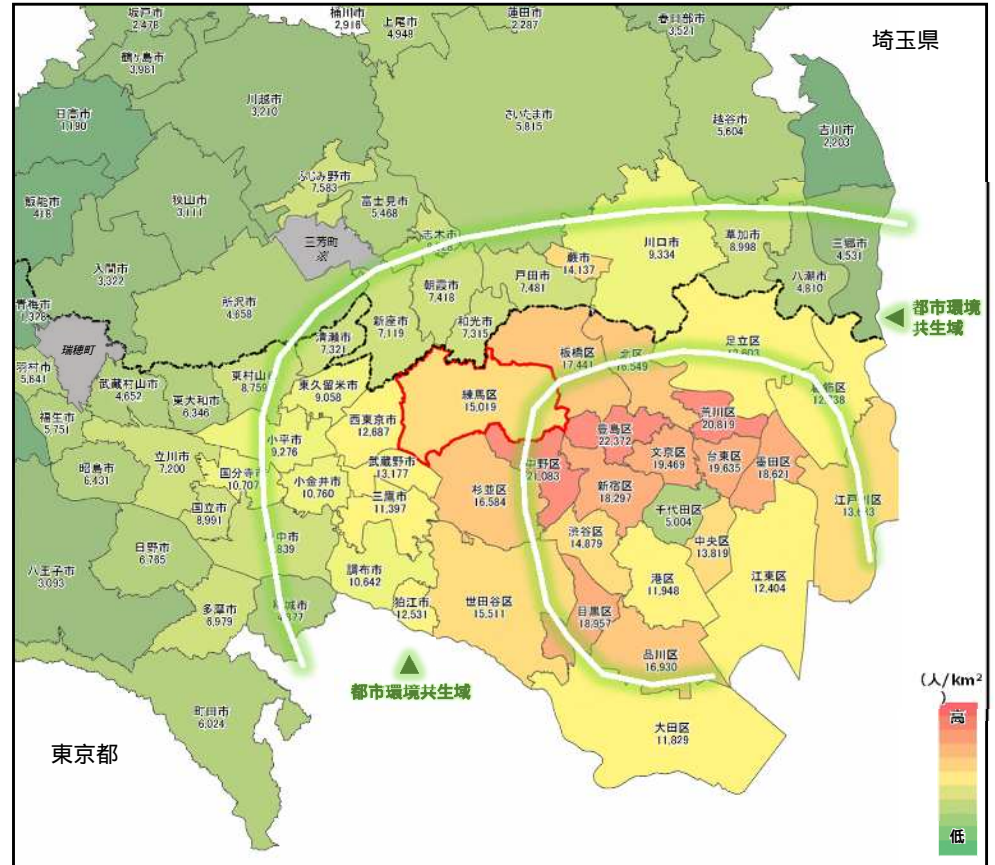
【総人口 H27年】



出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

・総人口は、練馬区も含め、都心部を取り囲む周辺区（環七～環八付近、都市環境共生域のうちの内側半分程度）が比較的多くなっています。

【人口密度 H27年】



出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

・練馬区は、面積が比較的大きいにもかかわらず、人口密度が高くなっています。
・練馬区の南北に位置する板橋区、杉並区、世田谷区も同様の傾向です。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

3) 人口構成

【年少人口割合 H27年】



出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

【生産人口割合 H27年】



出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

- ・練馬区は、23区の中では年少人口割合が高い方です。
- ・基本的に都心周辺区で割合が高く、都心区は割合が低い傾向にあります。千代田、中央、港区においては都心周辺区と同水準の割合となっています。

- ・基本的に都心区での割合が高く、周辺へ行くほど下がる傾向になっており、練馬区もその傾向に準じたものとなっています。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

3) 人口構成

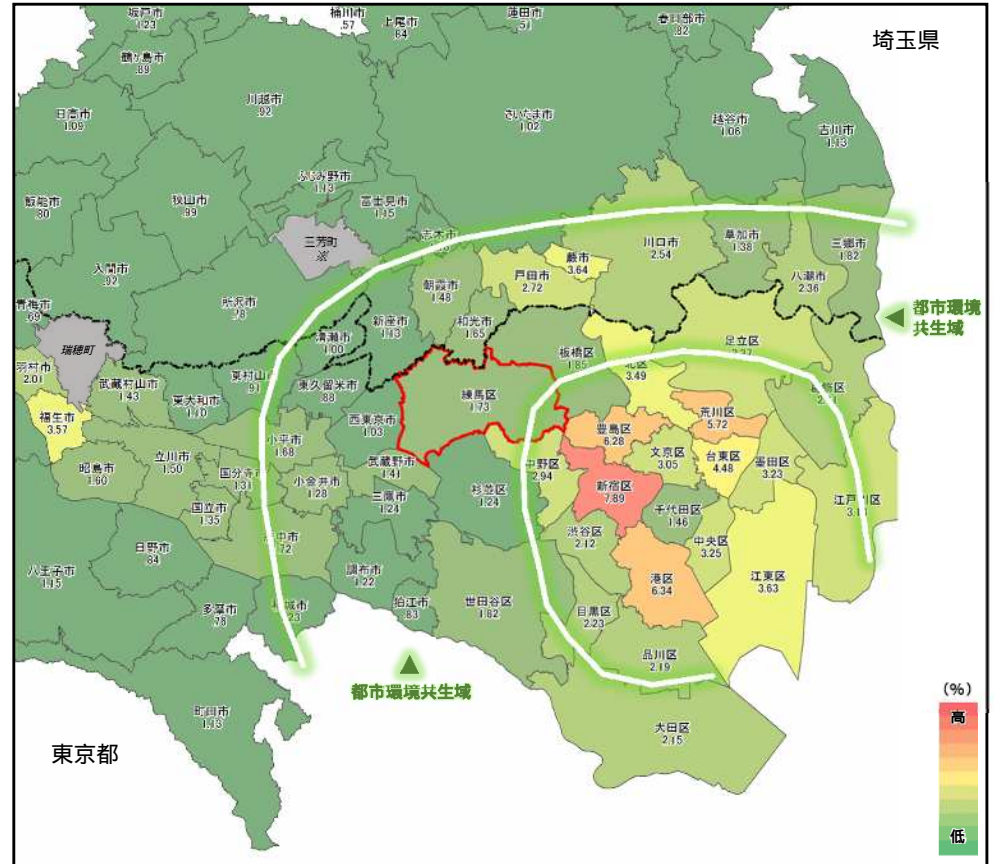
【高齢人口割合 H27年】



出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

・基本的に都心区での割合が低く、周辺へ行くほど高くなる傾向になっており、練馬区もその傾向に準じたものとなっています。

【外国人割合 H22年】



出典：平成22年国勢調査（総務省統計局）

・基本的に都心区での割合が高い傾向にあります。練馬区は、周辺区市と大きな差はありません。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

4) 住宅

【戸建割合 H25年】



【共同住宅割合 H25年】



出典：平成25年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

出典：平成25年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

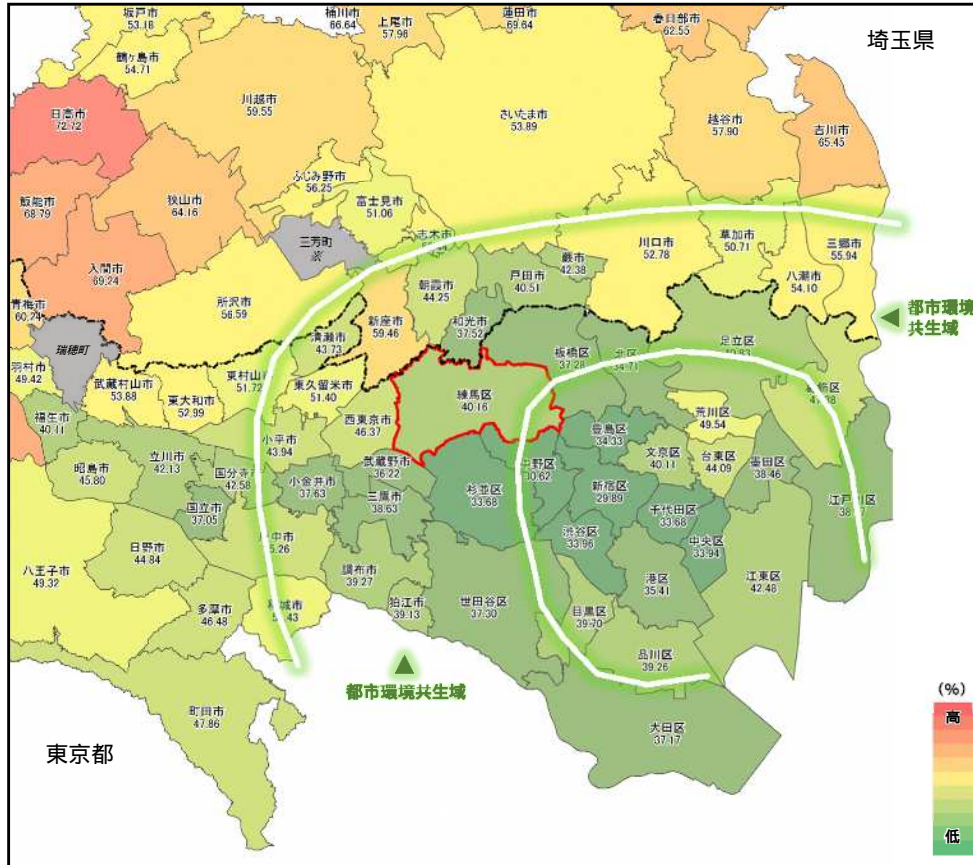
- ・都心に近いほど共同住宅割合が高く、周辺区市に行くほど戸建住宅の割合が高くなる傾向にあります。
- ・練馬区もその傾向に準じたものとなっています。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

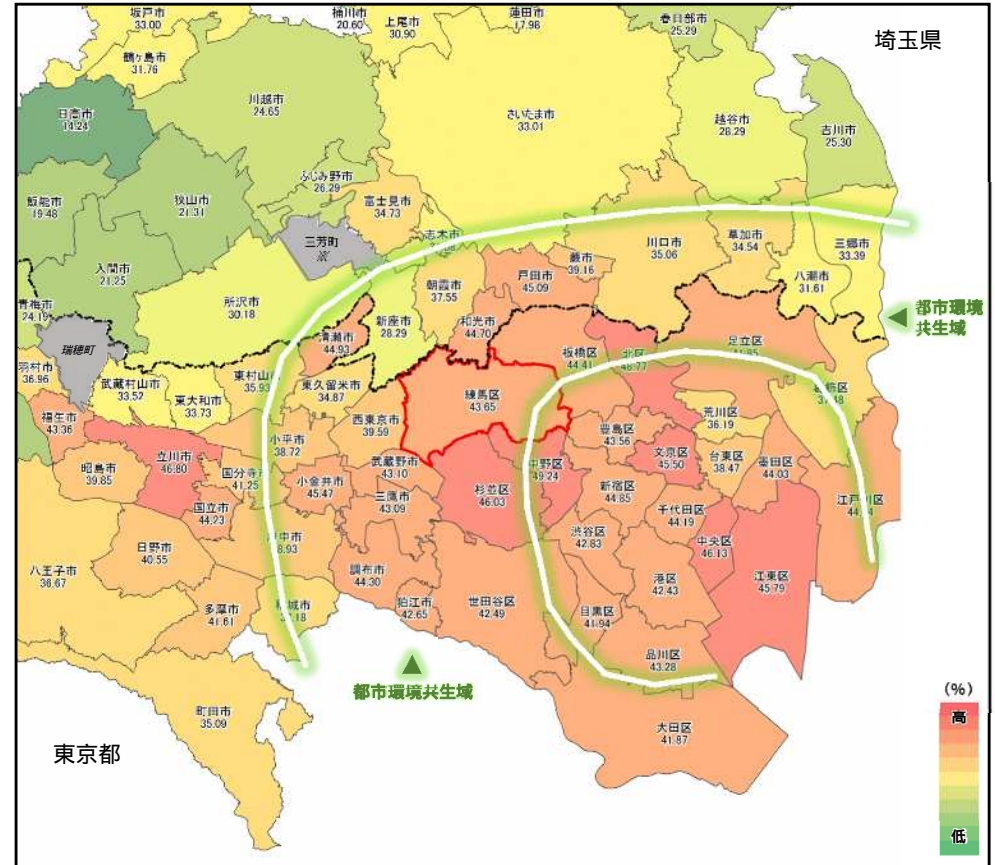
4) 住宅

【持ち家割合 H25年】



出典：平成25年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

【借家割合 H25年】



出典：平成25年住宅・土地統計調査結果（総務省統計局）

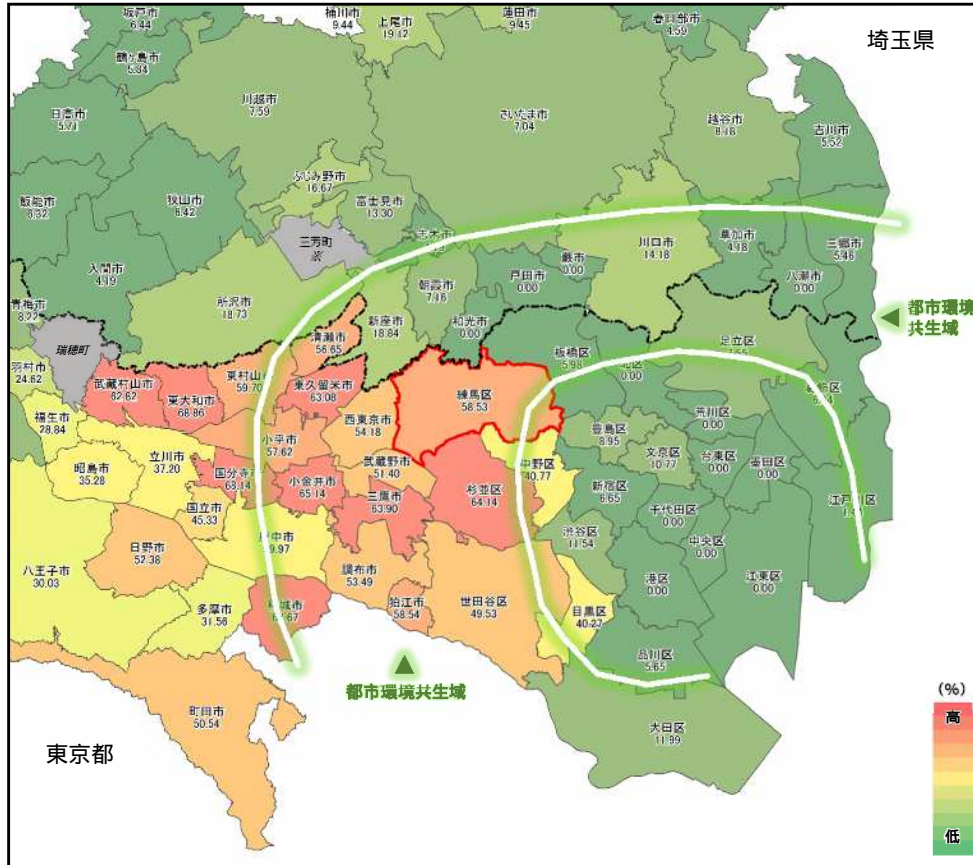
- ・23区は総じて借家の割合が高く、東京西部や埼玉県方面が持ち家の割合が高くなる傾向にあります。
- ・練馬区もその傾向に準じたものとなっています。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

5) 用途地域

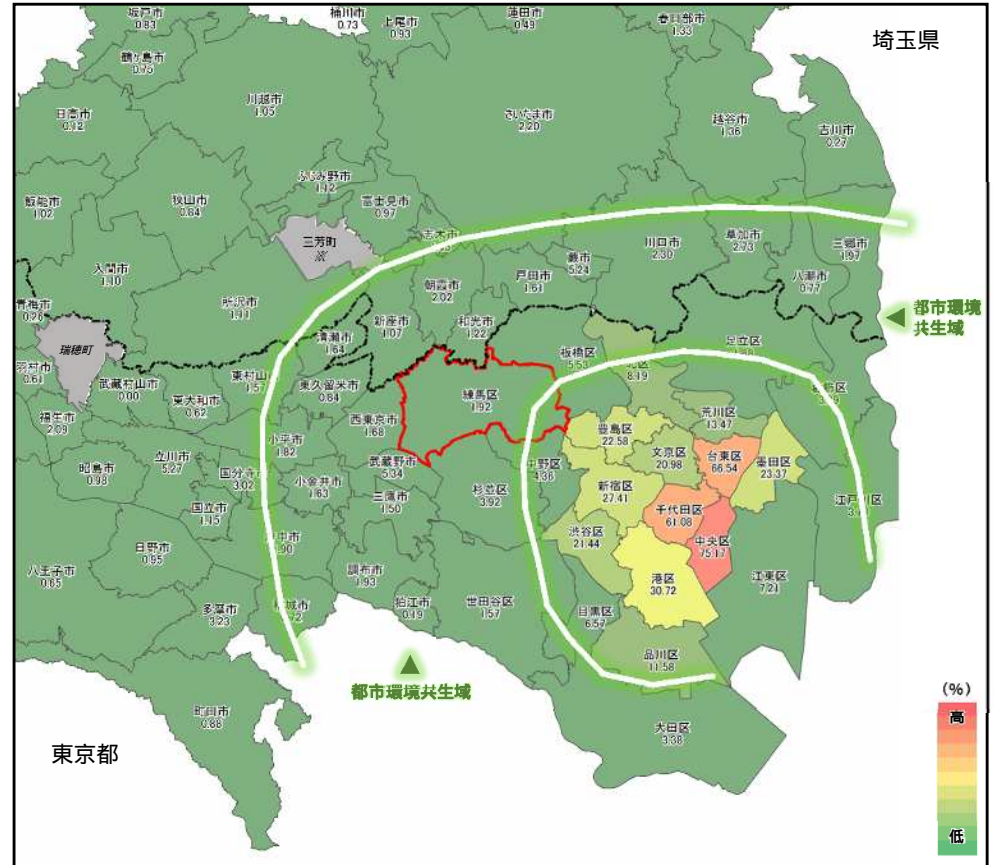
【都市計画区域における第一種低層住居専用地域の割合】



出典：平成25年都市計画年報

- ・23区では杉並区に次ぐ割合の高さです。
- ・練馬区を含む23区の西側5区は、他の区に比べて目立って高く、西部地域と同水準です。

【都市計画区域内における商業地域の割合】



出典：平成25年都市計画年報

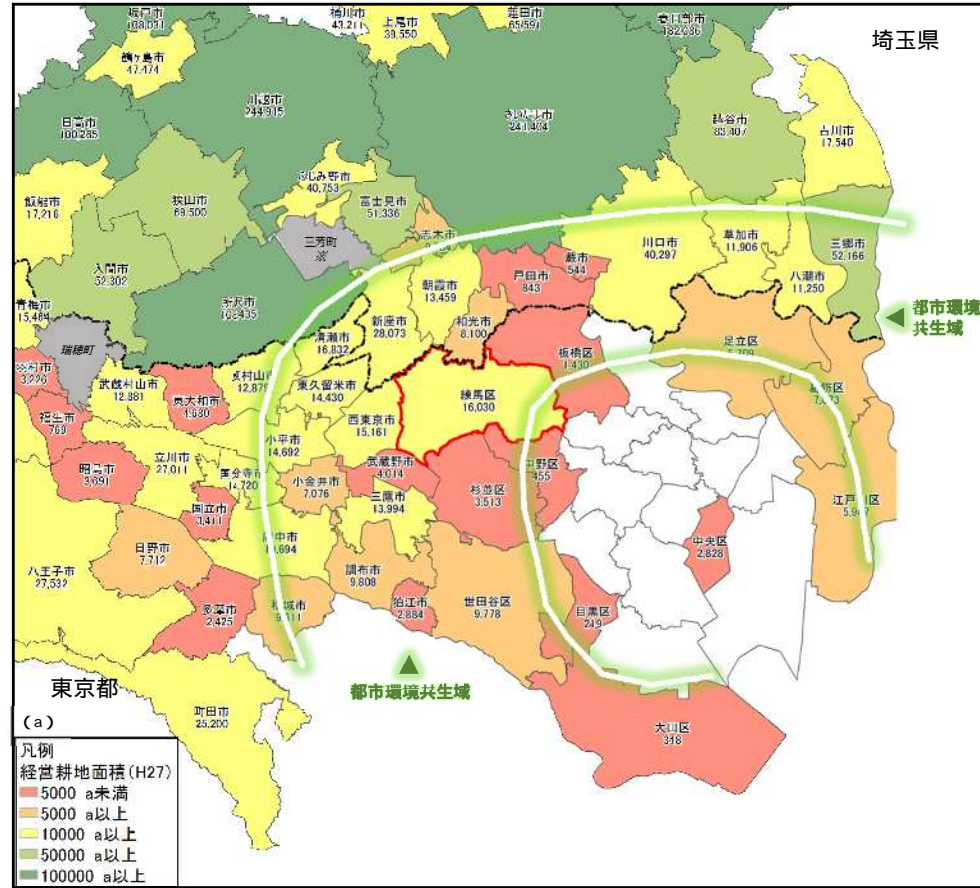
- ・23区の中では世田谷区、足立区に次いで低くなっています。また北側や西側の区市と同様の水準で、武蔵野市や国分寺市、立川市よりも低い数値です。
- ・明確に「住宅都市」と言える傾向です。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

6) 農業

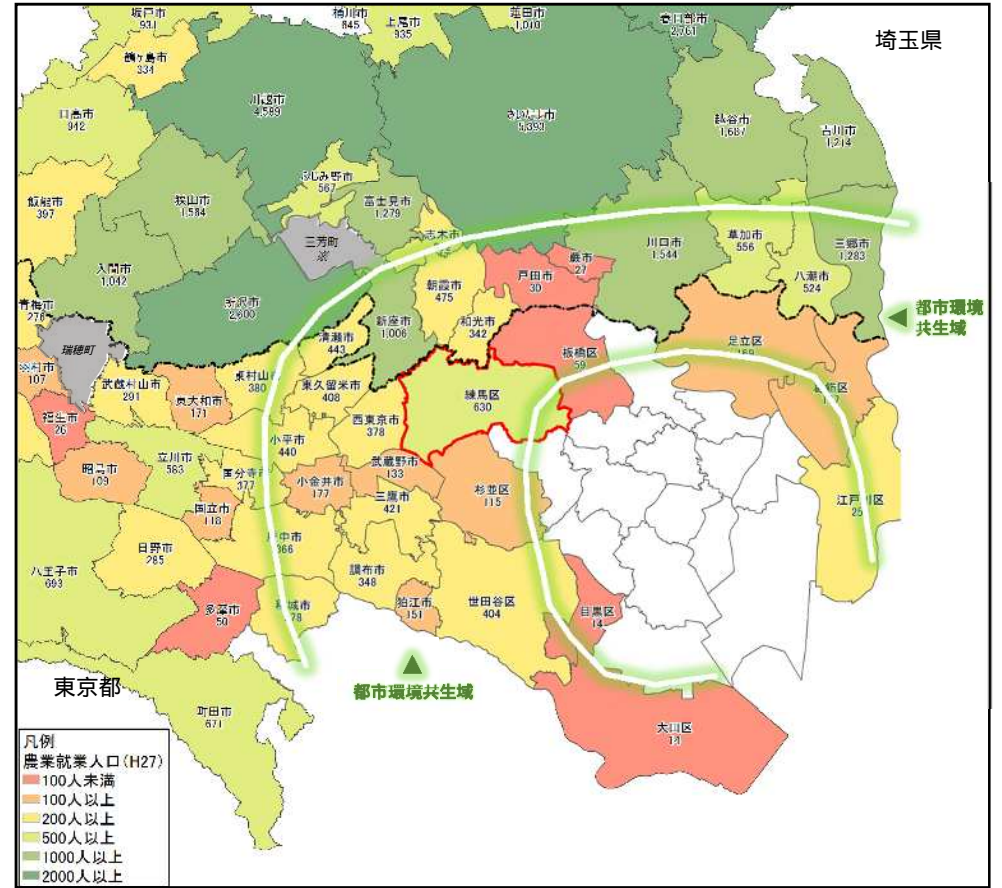
【農業耕地面積 H27年】



出典：2015年農林業センサス

・23区では圧倒的に多くっており、東京西部地域と同水準です。

【農業就業人口 H27年】



出典：2015年農林業センサス

・農業就業人口は近隣市区と比較して多い方です。
 ・東京西部地域の八王子市、町田市と同程度の人数です。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

7) 人口動態等

【昼間人口比率】



【転入・転出の差 H26年】

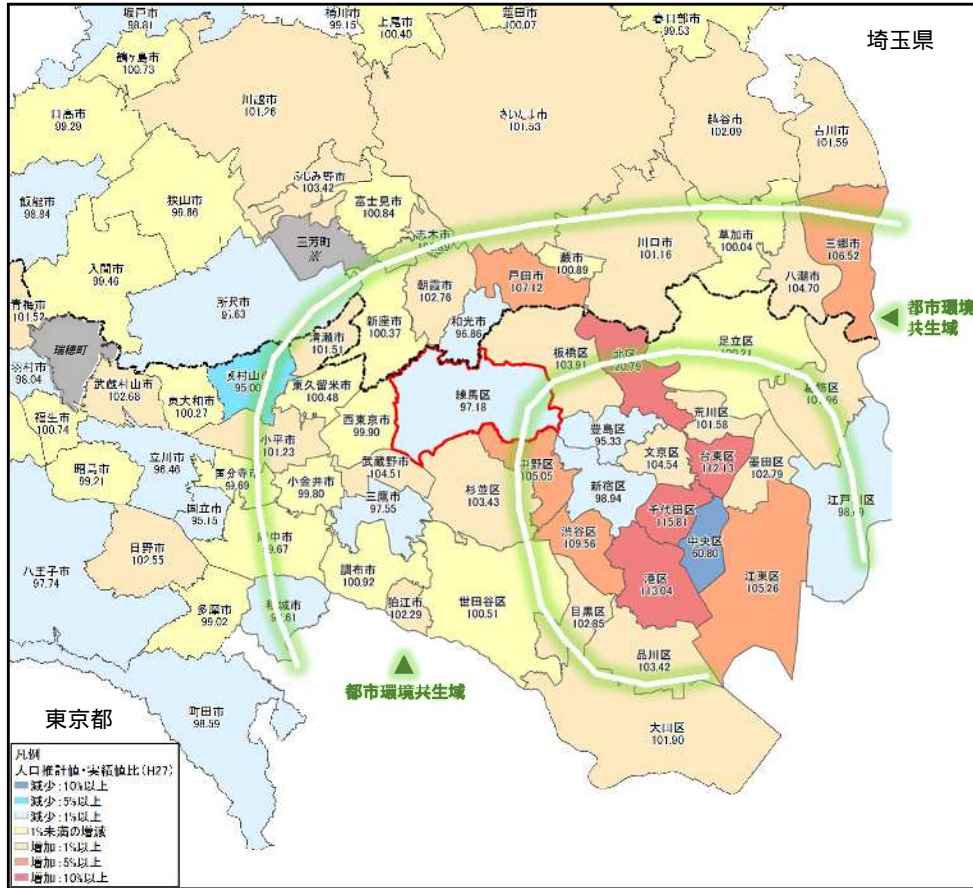


東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している

1. 練馬区とその周辺区市との比較について

7) 人口動態等

【2015年における人口の実績（速報）値と推計値の比率】 2010年時の推計値を100とした場合の実績値の指数



出典：平成22年国勢調査（総務省統計局）

- ・練馬区は、2010年時点での推計値を下回っています。（約97％）
- ・周辺区市では推計値より実績（速報）値のほうが高かったところも多在中、下回った度合いが高い方です。

東京都西多摩郡瑞穂町と埼玉県入間郡三芳町は、各々の郡の飛び地のため、この集計では除外している